



## 大図研京都ワンディセミナーのご案内

テーマ：『島根大学探訪～図書館での「学び」と「協働」を考える～』

概要：11月には、神在月神事が繰り広げられる島根。今年は遷宮もあり、一段とにぎわいを見せています。島根大学附属図書館も、昨年の耐震改修工事を無事に終え、今年4月にリニューアル・オープンしました。そんな島根大学で、図書館での「学び」や教員・学生との「協働」について、一緒に考えてみませんか？

開催日時：2013年11月23日(土) 13:30-17:30

会場：島根大学附属図書館 多目的室

講演：森 朋子 氏（島根大学 教育・学生支援機構 教育開発センター長）

事例報告：矢田 貴史 氏（島根大学学術情報機構附属図書館）

事例報告：北井 由香 氏（島根県立大学松江キャンパス図書館）

主催：大学図書館問題研究会 京都支部

共催：島根大学学術情報機構附属図書館

島根県大学・高等専門学校図書館協議会

参加費：無料

※セミナー終了後、懇親会を予定しています。

参加ご希望の方は、申込時にわかるように記入をお願いします。

※24日(日) 午前にはオプションツアー(希望者のみ)を行います。

出雲大社もしくは松江城下町観光の予定です。

申込方法：大図研京都ワンディセミナー申込フォーム

(<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20131123.html>) からお申し込みください。

申込締切：2013年11月16日(土)

定員：40名(先着順)

### [目次]

大図研京都ワンディセミナーのご案内	…	1
大図研京都ワンディセミナー「Library SHIFT !～Hotな公共図書館最前線のCoolな取り組みをBeer片手にディスカッション!～」 参加報告	…	2
支部委員 挨拶	…	3
学生会員制度の施行を始めます	…	7
忘年会のご案内	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたはURLへお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com) (大学図書館問題研究会京都支部)

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

---

**大図研京都ワンディセミナー****「Library SHIFT ! ～Hot な公共図書館最前線の Cool な取組みを Beer 片手に  
ディスカッション!～」参加報告****是住 久美子**

---

平成 25 年 7 月 20 日 (土) に開催された大図研京都ワンディセミナーに参加してきました。「Library SHIFT ! ～Hot な公共図書館最前線の Cool な取組みを Beer 片手にディスカッション!～」をテーマに、立命館大学教授で元浦安市立中央図書館長の常世田良先生を講師に、公共図書館の新しい取り組みについてご紹介いただきました。

会場は、梅田の中心部に位置し、開放的な空間で双方向の情報受発信を通じた、「学ぶ」、「楽しむ」、「参加する」様々なイベントを開催しているアサヒラボ・ガーデンにて、35 名の方が参加しました。

以下、講師が話された主な内容について報告します。

図書館冬の時代と言われるように、厳しい状況に置かれている中で、公共図書館では職員のマネジメント能力が意識されるようになってきた。積極的に戦略を立てて取り組んでいる図書館の事例を紹介するので、大学図書館にも活かしてほしいという導入部分のお話がありました。

近年、市民が置かれている状況の変化として、「自己判断自己責任」型社会への移行が顕著になってきており、これまでは組織の中で一人一人が情報を収集して判断する必要性が低かったが、現在は個人や小さな組織など、判断が必要な単位が小さくなってきている。そのような社会の中では正確な情報が公平に提供されるシステムが必要となるが、ほとんどの人達は従来型の情報チャンネルにしがみついている。そこで図書館がその情報チャンネルになろうというのが公共図書館の戦略であるとのことでした。

では、実際に公共図書館が具体的にどのようなサービスを行っているのか、ビデオを交えて事例を紹介されました。

まず、鳥取県立図書館のビジネス支援サービスについて、個人事業者の方が、資金調達の方法から市場規模の調査、商品をデザインしてくれるデザイナーに至るまでの情報を図書館で提供され、実際に商品化された事例について紹介されました。

次に、東京都の立川市中央図書館の「しごと・資格コーナー」において、仕事に関する図書の他に、これまであまり購入してこなかった資格の参考書も収集し提供している取り組みや、東京都立中央図書館の企業データベースの利用講座について紹介がありました。

ここで、日本の自殺者数の多さと、失業問題との関連の高さに着目し、自殺へ向かう精神状態から抜け出すための本や就労関係の本まで、NDC 分類にこだわらず一つのコーナーに集めた鳥取県立図書館の取り組みについても触れられました。

続いて、栃木県の小山市立中央図書館の農業支援コーナーや、農業なんでも相談室の取り組みを紹介され、都市部だけでなく、どんな地域にも就労支援の方法がある。ハローワークのチラシが図書館に置いた方がよく手に取られることもあり、公共施設の中で最も利用数の多い図書館を、メディアとして利用する考え方について言及されました。

さらに、東京女子医科大学病院内にある図書館「からだ情報館」では、看護師と司書が常駐し、入院患者だけでなく一般市民からの医療情報に関する相談に応じているという先進的な取り組みについてもご紹介いただきました。

従来型の公共図書館は娯楽・教養関係のサービスを中心としてきたが、先の事例にあったようなビジネス支援サービスや、医療健康情報サービスや法律情報サービス、行政支援サービスなどの課題解決型と言われるサービスへとシフトしてきている。ただ、ビジネス支援や医療情報サービスを行うには公共図書館だけで実施することは不可能で、外部の機関と連携する必要がある。

予算や人事などの決定権を持っているのは、公共図書館なら自治体の首長である。しかし、ほとんどの首長は図書館への理解が低い。地域経済の活性化といった首長の課題が、図書館で解決できることをアピールすると首長の意識が変わる。首長の課題と図書館の課題を結びつけるというのも戦略の一つ。

図書館の中で上司を説得しても徒労に終わることが多い。その組織のキーパーソンを説得することが重要だとおっしゃっていました。

常世田先生のお話の後には、会場のアサヒラボ・ガーデンより飲み物のご提供をいただき、ジュースやビールを飲みながら、質疑応答・ディスカッションを行いました。大学図書館におけるビジネス支援サービスの可能性についての質問等が出され、常世田先生は、公立図書館と大学図書館が連携し、地域にある知的資源を共有化する必要がある。地域によって状況が様々であるので、公立図書館が弱いところでは大学図書館が担っていくなど出来る側からやっていくべきだと思うが、最終的には政策的に図書館がどうするかを作っていく必要があると答えておられました。

セミナー後の懇親会では、参加者全員の自己紹介があり、館種を超えた活発な意見交換や、参加された学生の方から現役の図書館職員への熱心な質問などもあり、有意義な会合となりました。

これずみ くみこ(京都府立図書館)

## 支部委員 挨拶

大図研の年度は7月で替わります。2013年度の開始に伴いまして、支部委員を務めさせていただきます14名よりご挨拶させていただきます。今年度も新しいメンバーを迎え、より一層京都支部を盛り上げていきます。これからも大図研京都支部をどうぞよろしく願いいたします。

### ● 安東 正玄(研究企画)

大図研に入ってまだ4年目です。

私学の図書館では業務委託化が進んでおり、業務委託の方々自身が図書館の未来を語れるか否かで、その図書館の価値も変わってくるのではないかと思います。最近、業務委託の方々に自由な発想をしていただくためにどうしたらいいか、日々悩んでいます。図書館を構成する人々が、高いレベルで目標が設定・共有できるようにすることが大切だと思っていますが、その為にも、少しでも多くの方が大図研に関わってくれれば

と思っています。「主体的な学び」を求めている図書館ですから、私たちが「主体的」であることが大切ですよ！そんなことも考えながら、日々過ごしています。

あんど う せいげん (立命館大学 図書館サービス課)

● 大瀬戸 貴己 (メールマガジン／支部報編集)

昨年度より引き続き支部委員を務めさせていただきます。今年度はメールマガジンと支部報編集を担当します。

昨年度は支部委員として大図研に関わらせていただき、図書館に携わる方々の積極的な学びの姿勢をより近くで感じることができました。

今年度もさまざまなイベントを通して、会員のみなさまが学ぶ・知る楽しさを実感できる場を提供できたらと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

おおせと きみ (奈良県立医科大学附属図書館)

● 金森 悠一 (Web サイト・ML／組織・財務)

昨年同じように自己紹介を書いてから、気がつけば1年が経過していました。この1年は増改築に伴う諸々の検討会議や、作業等で飛ぶように過ぎていきました。什器に使う予算が確保できずに建物より半年も遅くなりましたが、幸いにも、つい先日、無事に式典を開催することが出来ました。綺麗になった事務室で仕事ができることはとても幸運なことなのだと思います。これで安心するのではなく、一息ついたら、次はそこで何をするかを考えなければいけません。他大学のすばらしい事例を参考にしながら色々検討していきたいです。

そんな内情はともかく、大図研京都支部の活動も頑張ります。今年も Web サイト運営および組織・財務を担当させていただきます。大図研という組織もその形を一新すべく色々検討しているところかと思いますが、まずは日々の作業をこなしていきたいと思えます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

かなもり ゆういち (京都教育大学附属図書館)

● 小林奈緒子 (広報・デザイン)

島根大学の小林です。このたび京都支部の支部委員に加えさせていただくことになりました。

現在は、本館(松江キャンパス)で利用サービスにあたる部署(情報サービスグループ、資料利用担当)に所属し、主に利用者データのメンテナンス、新着図書の処理、閲覧室にかかわる諸事項の対応をしています。また、広報も担当していて、月二回の広報誌「LiMe(ライム)」や、年報、館報などの編集を担当しています。

京都支部へは、昨年初めて大図研の大会へ参加して、皆さんの活発な活動に触発され(？)、入会を決めました。今年は、11月に島根ツアーも企画しますので、色々とお役にたてればと思います。遠方&二人の子持ち母なので、思うように活動に参加出来ないこともあるかとは思いますが、そこは他の方法でカバー出来ればと思っています。

よくわからないことばかりですので、皆さまのご教示をよろしくお願いいたします。

こばやし なおこ (島根大学附属図書館)

● 坂本 拓 (副支部長／支部報編集)

今年度も引き続き、支部報編集を担当させていただき、皆様楽しんでもらえる紙面作りに努めたいと思います。

就職した当初から大図研の支部委員をさせていただき、気が付けば、かなりの古株になってしまいました。その間、全く苦労が無かったわけではありませんが、やはり、支部委員にならないかと声をかけてくださった先輩に感謝すると同時に、支部委員になる決断をした自分に、**Good choice!** と言ってやりたいです。

サン・テグジュペリは、『人間の土地』という本の中で、「愛するということは、お互いの顔を見合うことではなく、一緒に同じ方向を見ることだ」と言っています。

(第8章「人間」第3節)

大図研の支部委員になり苦労もありましたが、大学図書館界／学術コミュニティをより良くしたいという志を持った全国の仲間と、同じ目標に向かって邁進できたことは、強い絆を生み出し、図書館員／社会人としてだけでなく、一人の人間としても成長させていただきました。また引き続き、皆様のお仲間として恥ずかしくないように今年も一年間、頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さかもと たく(京都大学附属図書館)

#### ● 辰野 直子 (研究企画)

引き続き支部委員を務めます。

研究企画担当として、会員の方々にとって魅力的な活動を考えたいと思っております。また、ゴーストの会をはじめとする OB の方々との交流も具体化させていきたいと考えております。

一会員として、現在大図研の検討課題となっている組織体制・財政の見直しについても、皆様とともに考えていければと思います。

一年間どうぞよろしく願いいたします。

たつの なおこ(国際日本文化研究センター図書館)

#### ● 寺升 夕希 (支部報編集／広報・デザイン)

支部報編集および、広報・デザインを担当いたします、滋賀医科大学附属図書館の寺升です。

大学図書館の現状や課題、京都支部の取り組みなど皆さまに興味を持ってもらえるような編集を心掛けたいと思っています。「広報・デザイン」は今年度新設された項目のため、どういった役割を担うのか未知数ですが、支部報同様、京都支部の活動や各種セミナー案内などをわかりやすく、また積極的に参加いただけることを目標に頑張ります。

今年度も引き続きよろしく願いいたします。

てらます ゆうき(滋賀医科大学附属図書館)

#### ● 長坂 和茂 (組織・財務／2013年度全国委員)

今年度は組織・財務担当と全国委員はそのままですが、長年勤めました支部報の印刷・発送担当を外れまして、研究企画担当になりました。支部報の印刷・発送は私が大図研に入った2008年7月から担当しておりましたので、5年間この作業を担当していたこととなります。

5年前と比べると、支部報印刷・発送の作業は、宛名の印刷の仕方も、支部報の印刷製本の仕方も、担当者的人数も、かなりの部分で違っていて、十年ならぬ五年一昔だなあ、と思う次第です。印刷・発送担当としての今までの自分の働きについては、

至らぬところもあったかと思いますが、支部報とそれに掲載されている情報をできるだけ早く会員の皆さんのところへお届けする、というコアの部分の部分は守ることができたかな、と思っています。

よく言われることですが、京都支部の主な活動は「支部報の発行」と「セミナー」。この二つの事業は京都支部という車の両輪といって過言ではないと思っています。そういう意味では、支部報印刷・発送担当から研究企画担当への担当替えは、一方の車輪からもう一方の車輪への移動。これからもこの車輪を全力で回して、京都支部の活動をより活発にできればと思っています。

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

あ、恒例の三国志の話をするのを忘れていました。今年は曹操の魏公就任 1800 周年です。三国志魏書武帝紀によれば建安 18 年の「五月丙申」。兩千年中西曆轉換 (<http://sinocal.sinica.edu.tw/>) で西曆に変換すると 213 年 6 月 16 日です。旧曆のままだと、「五月丙申」は 5 月 10 日のことです。

ながさか かずしげ (京都大学工学部・工学研究科桂化学系図書室)

#### ● 野間口 真裕 (副支部長／組織・財務／Web サイト・ML)

早いもので、京都支部で支部委員となり、5 年目となりました。今年度も組織財務の主担当を継続させていただくとともに、新たに山下支部長の下、副支部長をさせていただくことになりました。多忙な支部長、支部委員の皆様を坂本副支部長とともに補佐していければと思っています。何卒よろしくお願ひいたします。

また、1 年お世話になりました支部報編集を離れ、Web サイト・ML 担当の末席を務めさせていただくこととなりました。

昨年度、大図研の将来について活発な議論の結果、大きな方針が決定し、今年度は京都支部が地域グループに生まれ変わるための大事なさなぎの期間となります。

新たな地域グループの形を作るなど会の形を変えるための大変大切な時期となり、それに伴う色々な事も多いと思われそうですが、また一方で変わらず、これまでの『総会、研究交流会、支部報、メーリングリストによって会員相互の交流を深めていくとともに、新たな仲間を増やしていきたい』、そして楽しく前向きな議論ができれば」というモットーとともに頑張っていきたいと思います。

どうぞ今年も 1 年よろしくお願ひいたします。

のまぐち まさひろ (京都大学附属図書館)

#### ● 花川 尚子 (支部報印刷・発送／メールマガジン)

今年度より支部委員を務めさせていただくこととなりました。メールマガジンでは主に Twitter を担当します。

大図研に入会して一年間、「興味があるならとにかく行く」を心がけ、大図研内外のセミナーに参加してきました。8 月の全国大会では引き続きディスカバリーサービスに注目が集まる一方で、MOOC (無料オンライン授業) の存在も意識され、図書館を含む教育の場は日々大きく変化していると感じます。大図研の催し物は、講演そのものだけでなく質疑応答の白熱ぶりも面白く、毎回楽しんでいきます。支部委員としてワンディセミナーの運営側になるということで、参加者の方々に多くのものを持ち帰っていただけるようサポートします。

一年間、どうぞよろしくお願ひ致します。

はなかわ なおこ

● 原 健治 (研究企画／組織・財務)

今年度から大図研に参加させていただくことになりました。

ご存じの通り本学を含む多くの私立大学では、図書館は一般事務職員の異動先の一つという扱いとなっています。また業務委託の拡大で、大学職員として経験のない業務をいかにマネジメントするかが問われているのに、その能力が著しく劣っているので日々困惑の日々を送っています。その意味で大学図書館間の連携を今後も大事にしたいと思っております。

組織再編による業務量の増加や、スポーツ観戦・お笑い・温泉とオフも色々予定があり、日々の活動もままならない状況もありますが、どうぞよろしく願いいたします。

はら けんじ (同志社大学図書館)

● 原竹 留美 (支部報印刷・発送／広報・デザイン)

委員として3年目を務めさせていただきます。大学図書館で働いていても大学図書館を取り巻く様々な出来事が自分の身近なものでなければ、深く考える余裕をなくしてしまいがちな毎日です。でも、ダイトケンの会員だから、仲間がいるから、情報も得られるし、助言をもらえたりもします。会員の皆様にとって「入ってよかった」と思っていただけよう、支部委員として頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

はらたけ るみ (京都大学附属図書館)

● 山上 朋宏 (支部報印刷・発送／メールマガジン)

今年度より支部委員を務めさせていただくことになりました山上と申します。

職場では目録業務を担当しています。大図研には去年入会し、京都支部のワンディセミナーにも何回か参加しましたが、運営する側に回るとは思ってもみませんでした。普段の業務とは違った経験が積める貴重な機会をいただいたと思いますので、精一杯務めさせていただきます。

支部委員では「メールマガジン」と「支部報印刷・発送」を担当いたします。至らぬ点もあると思いますが、会員の皆様にとって少しでも有益な情報をお伝えできるように努めたいと思います。

まだ大学図書館の世界に入って2年の若輩者ですが、1年間どうぞよろしく願いいたします。

やまがみ ともひろ (京都大学附属図書館)

● 山下 ユミ (支部長／広報・デザイン)

今年度、支部長3年目を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしく願いします。

昨年度は5回のセミナーや見学会を実施して、6名の新入会員をお迎えすることができました。毎日忙しく仕事をしている皆さんが、お休みの日にわざわざ足を運んでお互いに意見を交換しあえる場を持つことは、本当に貴重な時間だと思います。今年度も会員相互のコミュニケーションを促進できる企画を実行していきたいと思っています。

やました ゆみ (京都府立医科大学附属図書館)

## 学生会員制度の試行を始めます

大図研京都支部の支部委員会では、今年度より学生会員制度の試行を始めることにいたしました。大図研京都支部の活動に興味を持ち、大図研京都支部の活動について理解した上で会員になることを希望している学生に対し、大学図書館問題研究会費 5,000 円 + 京都支部費 0 円で大図研京都支部会員として所属していただくという内容です。  
※支部の収入は支部還元金 500 円のみとなります。

支部委員会では、近日行われましたワンディセミナーへの学生の参加、ディスカッションなどの活動を通して、今後とも協働していくことができると考えております。また、学生会員制度について皆さまから広くご意見をいただき、来年度以降、正式にこの制度を開始するかどうかを決定したいと考えております。  
皆さまからのご意見をお待ちしております。

## 大図研京都支部忘年会のご案内

いよいよ、今年も終わりに近づいてきました。

今年も大図研京都支部では忘年会を開催いたします。今年はゴーストの会から OB の方もご参加頂ける予定です。これまでの大図研について、興味深いお話が伺えると思います。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

日 時：2013 年 12 月 13 日(金) 19:00 開始

場 所：がやがや京都錦店

<http://r.gnavi.co.jp/ka87101/>

(四条烏丸近辺です)

参加費：大図研会員/ 非会員ともに 4,000 円程度

(参加費は当日会場でいただきます)

申込方法：当日の飛び入り参加も歓迎しますが、事前に参加人数を把握するため、お近くの支部委員または支部委員会 ([kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)) まで、お知らせください。

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。既に2013年度（大図研会計年度2013.07－2014.06）に入っておりますので、2013年度の会費の納入をお願い致します。また、2012年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

**会費は、¥7,000（大図研会費：¥5,000＋京都支部会費：¥2,000）です。**

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

**郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部**

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部（kyoto@daitoken.com）まで。